

●令和2年度第1回市長会総会を開催

8月4日に開催した総会では、令和元年度決算報告などの承認と令和2年度補正予算等を審議しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、観光への緊急対策事業を新たに実施します。

また、同日開催した中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との合同勉強会では、結城豊弘氏（読売テレビチーフプロデューサー・境港市観光協会会長）を招いて、経済や観光の戦略的手法を学びました。

●医工連携事業で新製品開発

鳥取大学医学部附属病院では、医療従事者を感染リスクから守る使い捨ての飛沫防止ボックス「トリアボックス」を開発しました。この事業は、市長会が事業を委託する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協



▲新製品を説明する関係者。

同協議会は、「団体・学校・保育部会」「企業部会」「地域部会」「行政部会」に分かれています。各部会では地域のいろいろな年代、職種の人に向けて組織的な人権啓発活動を展開しています。10月1日には、市内28事業所が参加した企業部会主催の研修会を開催しました。講師は、ハローワーク安来の山本司所長と島根障害者職業センターカウンセラー福波慎子さん。「公正な採用選考」と「休

シリーズ
人権を
考える⑳

＝人権尊重社会の実現をめざして＝
安来市人権・同和教育推進協議会の
取り組み ～企業部会の研修会～

問い合わせ
人権施策推進課
☎23-3095

職者の職場復帰」について講演いただきました。思い込みにとらわれず広い視野から多面的に物事をとらえることが人権尊重につながることもや同センターでの取り組みを聞きました。また、疑似体験演習も行いました（右記参照）。
誰もが働きやすい職場環境や製品のバリアフリー化など、企業の人権尊重への配慮は今や社会的責任と言われます。協議会では今後も研修を重ね、人権尊重のまちづくりの一翼を担いたいと考えています。



中海・宍道湖
・大山圏域

市長会通信⑮

問い合わせ
市長会事務局 ☎0852-55-5056

議会」と連携して取り組みました。

●重ね捺し うんぱく三城スタンプラリー開催中

（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局では、圏域内の3つの城をテーマとしたスタンプラリーを開催しています。

月山富田城・松江城・米子城の周辺各所に設置された5色のスタンプを重ね捺ししていくと、浮世絵のような1枚の絵が完成します。専用台紙を購入して3城すべて完成させると、抽選で山陰の特産品をプレゼントします。専用台紙販売窓口、スタンプ設置場所など詳しくは、観光局ホームページ（右QRコード）をご覧ください。



集中しやすい人の
気持ちの変化を体験

1つのことに集中しやすい人は、視野が狭くなりがちです。そのような人は、作業をしている時に声をかけられるとどのように感じるかを体験しました。

参加者は丸めた紙で顔を覆い、視野を狭くして作業を行います。作業中に講師は「まだですか？」などと話かけます。そうするとプレッシャーを感じるなど、気持ちの変化が大きいことが分かります。

